

令和4年8月10日

府中市議会

議長 村崎 啓二 様

府中市議会市政会

会長 比留間利蔵

### 行政視察について（報告）

このことにつきまして、次のとおり報告します。

1. 日 時 令和4年8月3日～令和4年8月5日
2. 視察地及び視察事項
  - ア 佐賀県 「SAGAサンライズパークについて」
  - イ 佐賀県武雄市 「武雄市図書館について」
  - ウ 福岡県福岡市 「アートのあるまちづくり推進について」
3. 視察者
  - 会長 比留間利蔵
  - 幹事長 佐藤新悟
  - 市川一徳 横田 実 増山あすか
  - 松村祐樹 秋山としゆき
4. 視察内容及び所感  
別紙のとおり

## SAGA サンライズパークの視察についての報告

視察日 令和4年8月3日(水)  
視察時間 午後1時より3時  
視察内容 ・会議室における説明 ・パーク内現地視察

### <説明について>

司会) SAGA サンライズパーク 直塚章治様  
説明員) SAGA サンライズパーク 山口俊裕様  
市政会) 会長 比留間利蔵  
幹事長 佐藤新悟  
市川一徳  
横田 実  
増山あすか  
松村祐樹  
秋山としゆき

#### 1 市政会比留間利蔵会長より挨拶

この度は、多忙中またコロナ禍にも関わらず視察の受け入れ、ありがとうございます。私どもは府中市議会で会派を結成しています市政会です。府中市は東京の中心に位置し、新宿駅より特急で約25分くらいのところ。府中市では市内には約13ヘクタールの広大な土地が戦後から基地跡地として残っており、今後どのようにこの土地を活用していくか、が大変重要な課題となっています。

今回 SAGA サンライズパーク様を視察先に選ばさせていただいたのも今後の府中市の課題解決、活用の一つのヒントになるのではないかと考えて、来ました。短い時間ですが、私どもはしっかりと調査研究させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

#### 2 パワーポイントを使用して説明及び現地視察

サンライズパークの命名の由来について説明があり、続いて整備の経緯についての説明があった。現在建設中のアリーナについての説明があり、今回の整備にあたり、府中市の隣の調布市に視察に行き味の素スタジアムを現地視察したという話があった。また、アリーナに設置予定の大型ビジョンは東芝製のことであった。アリーナは完成後にはスポーツだけではなく、コンサートや会議(MISE)などにも活用の予定である。また防災面でも一時避難所となり、アリーナの床面は底部がコンクリートで仕上げ、救済物資を届けられるように4トントラックなども施設内に入ることができるように設計がされているとのことであった。

陸上競技場は400メートルトラックが整備され、トラック内の芝生エリアではサッカー等の球技も可能であるとのことであった。

プールに関しては通常一般開放がされ来年(再来年)に予定されている国スポ(国体)に対応できるように設計され、実際の運営ではすでに様々なチームや有名水泳選手の合宿等で利用されている、とのことである。飛び込みプールも併設されている。

実際にアリーナは建設中であることから立ち入りは出来なかったが、プール・飛び込みプール・陸上競技場について現地を見学した。飛び込みプールでは実際の練習風景も見られた。陸上競技場は府中市の陸上競技場と比較することができた。全体で府中基地跡地留保地よりも規模が大きい様子が視察できた。

### 3 質疑応答

Q 陸上競技場については実際の利用頻度はどのくらいか？また、維持管理での課題をどのように考えているか。

A 実際の利用頻度はたいへん少ない。トラック内の利用に関しても近くに鳥栖市がありサッカーの公式戦はこちらでは出来ないことから、残念ではあるが少ないのが実情である。また維持管理に関しては、特に課題はないが、今話したように、運営をもう少し考えて行きたい。

Q 建設中のアリーナについて、予算規模はどれくらいか？国や県からの補助はどれくらいか？

A 当初は150億円くらいで考えていたが、工費が昨今の資材の高騰などで膨れ上がり実際は200億円を超えてしまっている。国や県の補助は、数億円でしかなくほとんどが市の予算である。

Q アリーナについてコンサートや様々なイベントが組まれる予定とのことだが、そういったイベントを通じてまちの活性化との考えはないのか？

A 本日視察されたこの施設は実際に佐賀駅から歩いてアクセスすることが可能な場所に位置している。そういったことで、駅からこの施設までの動線を今後は利用し、来場者が当施設だけではなく、市内の飲食店や様々な店舗に立ち寄っていただけるように今後は工夫して行きたい。

Q 陸上競技場について、トラックがあると例えばサッカーの試合など臨場感という点で意見はなかったか？

A 意見はありました。しかし、先ほどの質問でもお答えしたが、サッカーの公式戦が出来ないためそういったところに特化した施設での計画は実際上不可能でした。

### 4 視察の感想と効果について

今回、視察先としてSAGA サンライズパークを選んだ理由は、府中市の基地跡地留保地の利用の可能性の選択肢のひとつとして同規模の土地感の実際のスポーツ施設を見学し調査研究することにあつた。

同規模の土地に、体育館・陸上競技場・プール・人工芝球技場等の施設が一体で整備される現場や、実際の課題を調査することができたことは大変意義深い視察であった。

特に、陸上競技場については400メートルトラックは府中市の陸上競技場とは規模がわずか100メートルに違いでも実際の部分では大きな違いがあることがわかった。運営面ではアリーナや陸上競技場で、現場でしか聞くことができない課題があることがわかり視察の一つの意義となった。

建設中のアリーナについては、府中市総合体育館の移転等の調査研究の意義を含めていたが、今回の視察を契機にして今後更に会派として調査研究を深めていきたい。

## 武雄市立図書館の視察についての報告

視察日 令和4年8月4日(木)  
視察時間 午前10時より12時  
視察内容 ・会議室における説明 ・館内視察

### <説明について>

司会) 武雄市議会事務局長 川久保和幸様  
説明員) 武雄市立図書館長 溝上正勝 様  
市政会) 会長 比留間利蔵  
幹事長 佐藤新悟  
市川一徳  
横田実  
増山あすか  
松村祐樹  
秋山としゆき

#### 1 市政会会長比留間利蔵より

コロナ禍にも関わらず視察の受け入れに感謝する旨、府中市の概略、今回の視察の目的等について挨拶があった。特に今回の視察目的は、自治体運営にも関わらず斬新な運営が行われている当図書館について説明を聞くことによって、また、実際の現場を見学することによって、府中市の図書館の今後の運営について大事な視点を得ることができることを願う旨の挨拶内容があった。

#### 2 溝上館長からの説明

パワーポイントによる説明があった。

- ・図書館のコンセプトとして「市民の生活をより豊かにする図書館」目指す図書館像として「便利」で「役に立つ」図書館、という構想からスタートした。
- ・前市長が図書館について強い思いがあり上記の構想を打ち立て、計画が作成され設置がなされた。
- ・指定管理者制度を利用したが、指定管理者としてCCC(カルチャー・コンビニエンス・クラブ)という民間会社が企画運営に携わったことが成功の大きな要因であった。
- ・会館時間やサービスについて特に民間の知恵と活力を使ったサービスの拡充を大切にしていた。
- ・市民が図書館を利用することによって、図書館に人が集まり、それによるまちづくりが可能になるような運営がなされている。
- ・従来の図書館では静かにすることが当然であったが、イベント等をあえて館内で行い人が集まりやすくなるような仕掛けをしている。
- ・静かに本を読みたい、勉強がしたいという要望には別の部屋が用意されている。
- ・カフェとして「スターバックス」が入ることで、来館者の増強が図られている。
- ・蔦屋が雑誌等の販売も行いお茶を飲みながら雑誌等が読めるスペースが1階の主な場所にある。
- ・図書の分類を独自のやり方で行い、より親しみやすい図書の設置がなされている。

・様々な仕掛けを行い、図書館があるから武雄市に住みたい、といった住民行動で地域の活性化が図られることをさらに頑張りたい。

等の説明があった。

### 3 質疑応答

説明の後に参加議員から質問があった。

Q 電子図書に関してはどのように考えているのか？

A 電子図書についてはこの図書館に足を運んでいただき、そのことで地域づくりや活性化につなげたいのであまり力を入れていない。

Q 館長の役割が重要と感じたが、どうか？

A 従来は、学校の校長先生が退職後に館長になっていた。溝上館長は元市の職員で、府中市でいう産業振興課のような民間企業との関わりが深い仕事をしてきた関係で、従来にない発想ができています。また、市長との思いが重なったことでいい仕事ができているのではないかと。

Q 子育てという言葉が説明で多く出たが考えを聞かせていただきたい。

A この図書館を市民の誇りにしていただき、武雄市立図書館があるからこちらに引っ越してきた、といった声があった。子育てに関わる例えば読み聞かせのイベントにも従来の考えにとらわれないオープンスペースで一般の来館者にあえて見え、聞こえる形で行っている。そうしたことがさらにイベントの参加者の増につなげ、住みやすい地域、子育てにも特色を出せることを意識して仕事をしている。

Q 建物のデザインが第一印象としてすごいと感じたが。

A 市長の思いがデザインについては強かった。設立当初は本当に多くの方々に視察に来ていただいた。こういった話題性も地方の自治体では大事であると思う。韓国からも視察があり、コンセプトも含めて、参考にしていただき実際に韓国で図書館が運営されている。等の質疑応答があった。

### 4 現場視察

現場視察に関しては、説明はなく、各自が興味のあるところを視察し参考にしていった。

### 5 感想と視察の成果

図書館の運営等に関して指定管理者制度を利用することは比較的一般的になっているものの、指定管理者が大胆な提案を行い、市側がそれを採用することができたことが今回の視察地に選定した図書館の成功の大きな鍵となっている、と感じた。併せて、館長の思いが大変強く、こういった人選も大切だ、と改めて感じた。視察当日も小さな子供を連れた来館者も多く、夏休みという時期もあって学生が勉強する姿も多く見られた。是非、イベント開催時の見学がしたかったが残念ながら叶わなかった。

府中市でも中央図書館等があるが、武雄市立図書館のいいところで可能な部分は取り入れられるように今後も市政会として調査研究を深めていきたい。

福岡市「Fukuoka Art Next」事業～アートのあるまちづくり推進について～  
の視察についての報告

視察日 令和4年8月5日(金)  
視察時間 午後1時より2時  
視察内容 ・会議室における説明

<説明について>

司 会) 福岡市市議会事務局

説明員) 福岡市経済観光文化局文化振興部アートのまちづくり推進担当主査南宏樹様

市政会) 会 長 比留間利蔵

幹事長 佐藤新悟

市川一徳

横田 実

増山あすか

松村祐樹

秋山としゆき

1 府中市議会市政会会長挨拶 比留間利蔵

本日は、多忙中府中市議会市政会の視察を受け入れていただき大変ありがとうございます。府中市と福岡市では自治体の規模が異なりますが、アートという視点からまちづくりを考えると自治体規模に関係なく学ぶことができると考え今回視察の受け入れをお願いいたしました。実際に府中市では市内の公園に彫刻等のいわゆるパブリックアート作品が多く存在します。しかしながら、市民の関心は比較的薄く、今後新たな視点からアートを取り入れたまちづくりも将来の府中市にとって意義深いものではないかと考えています。短い時間ではありますが私どももしっかりとお話を伺い、今後の調査研究に役立てたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

2 担当による説明及び質疑応答

・地元の大学生やアーティストの作品発表の機会確保

・市民がアート作品に触れる機会の増大

・そういった機会を通してアート作品を理解し市民のWELL-BEINGの向上を図る。

今回の事業のきっかけは、市長がアートに関してたいへん理解が深く、実際に触れる機会を通じてまちづくりに生かしたいとの思いがきっかけになった。

展示例としては中学校の空き教室を利用したり工事中の防護壁を利用し身近なところにアート作品を展示し、目的である発表の機会や市民が触れる機会を作るといった事業展開をしている。

また、本年の9月から約1ヶ月間にわたって「アートウィーク(仮)」の実施を予定している。

「アーティストカフェ」の開設も今月(8月)に予定している。

といった説明があり、質疑応答が行われた。

Q 実際の市民の声はどのようなものがあるか？

A アンケート等はまだ実施していないため、声に関してはまだわからない。しかしながら、今後発表の場所等に関して市内の教室で更に発表し子供達への関心も深めていきたい。そういった展開で市民へ浸透させいい声が集まるように頑張っていきたい。

Q 福岡市ではパブリックアートはどのくらいあるのか？

A 200くらいあります。先ほど市長がアート作品に触れて興味を持ったと話したが、実際のパブリックアートがきっかけでした。

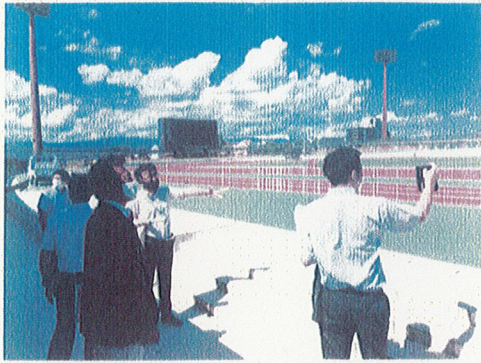
Q 府中市でもパブリックアートは先ほどの会長の挨拶でもありましたが、公園はじめ多くあります。しかし、市民がアート作品と認識しているかどうかは疑問もあります。今後、まちづくりに活かすにはどのような課題があるか。

A アート作品がまちづくりに一役担うようになるには時間が必要です。そして、市民がそういった作品を愛してまちのシンボルとして認識してもらうことも大切ではないでしょうか。そういった意味ではたいへん時間が必要ですが、しっかりと継続することでいい結果になればいいと考えている。

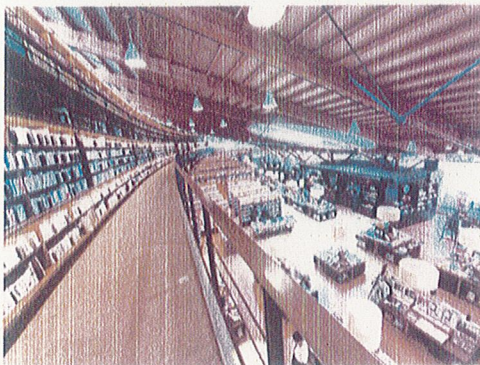
### 3 視察の感想と効果

今回の視察を通じて、実際のアート作品を市民に認識していただき、愛されることがアートを通じたまちづくりには肝心であると感じた。府中市にも多くの作品があるが視察で指摘されたように市民が認識して愛しているか、まだわからない部分もある。今後今回の視察を通じて学んだことを調査研究してまちづくりのヒントとして活用して行きたい。実際に福岡市内にあるアート作品に触れることができなかつたのは時間の都合があるにせよ残念ではあった。しかし、担当課に説明でアート作品への理解が更に深まった。

SAGAサンライズパーク視察 令和4年8月3日(水)



武雄市立図書館視察 令和4年8月4日(木)



福岡市役所視察 令和4年8月5日(金)

